

令和7年度 学科改編の概要

長野県下伊那農業高等学校

1 新旧の学科・コース

現行の4学科8コースを、以下のとおり新たな分野を学ぶ学科に再編し、3学科6コースを設置し、学習内容の改善・充実を図ります。

ただし、旧学科・コースの教育課程のうち、農業機械科「自動車整備コース」（一種養成施設三級自動車整備士養成課程）（専門教科：農業、工業）は廃止し、アグリサービス科「食農文化コース」の（専門教科：家庭）の一部を縮小します。しかし、調理及び保育の基礎分野は、普通教科家庭科科目「家庭総合」で取り扱うほか、2・3年次に専門科目「保育基礎」「フードデザイン」を進路等に応じて選択できるよう配慮しています。

さらに、以下のような新しい学びができる学科・コースを設置しています。

- 植物工場や環境制御、農業機械でのスマート農業に関する先端技術分野
- 生産から加工・販売、6次産業化の一貫した生産工程管理（GAPを含む）とグローバルな視点での農業経営
- 食品の栄養・機能性、安全・安心な食品衛生（HACCPを含む）
- 地域資源の活用と食を中心にした地域と連携した食品開発・販売の実践
- 動物や園芸（草花等）を題材とした交流型（園児や小学生等）の学習プログラムの実践

《学科・コースで学ぶ学習内容の主な変更》

< 改編前 > 4学科・8コース

アグリサービス科	地域探究コース
	食農文化コース
農業機械科	自動車整備コース
	生産技術コース
園芸クリエイト科	施設園芸コース
	果樹園芸コース
食品化学科	食品開発コース
	食品分析コース



< 改編後 > 3学科・6コース

栽培科学科	栽培システムコース
	果樹ビジネスコース
地域資源科	食品サイエンスコース
	地域クリエイトコース
生物活用科	動物サービスコース
	園芸デザインコース

2 新しい学科について

(1) 学科の目標・学習内容

学科名	学科の目標	学 習 内 容
栽培科学科	野菜や果樹の栽培を科学的に学び、美味しい農産物をつくる「栽培のマイスター」をめざす	
	農作物の栽培から販売までの生産工程を学び、これからの農業に必要なデジタル化に対応する技術やデータを活用する手法、農業経営に活かす知識や技術を身につけ、農業・園芸、関連産業及び地域社会や地域振興等で活躍する担い手の育成を目指す。	＜栽培システムコース＞ 野菜生産に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、植物工場での環境制御システムや栽培に活用する農業機械等について学ぶ。 また、ICT機器やデータを活用した生産技術に関わる学習を行う。 ＜果樹ビジネスコース＞ 果樹生産に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、生産物の加工や流通・マーケティング、6次産業化等の経営について学ぶ。 また、ICT機器やデータを活用した生産技術に関わる学習を行う。
地域資源科	食品の分析や栄養、食文化を学び、食農資源を活かし「地域のクリエイター」をめざす	
	地域資源を活用した農業や食品の分析・栄養などを学び、地域の食文化の振興や地域資源を用いた特産化に対応できる知識や技術を身につけ、食品産業、農業、関連産業及び地域社会や地域振興等で活躍する創り手の育成を目指す。	＜食品サイエンスコース＞ 食品の分析や栄養に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、安全安心な原材料を用いた食品製造や食品衛生について学ぶ。 また、食品微生物や食品の流通に関わる学習を行う。 ＜地域クリエイトコース＞ 伝統野菜や茶等の地域資源に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、地域の食文化や地域振興について学ぶ。 また、地域と連携した商品開発や地域の活性化に関わる学習を行う。
生物活用科	動植物の飼育・栽培と活用・交流を学び、人間生活を創造する「豊かなヒューマンサービス」をめざす	
	動植物の飼育・栽培だけでなく、健康や生活の質の向上につながる生物の活用を通じた交流活動を学び、ヒューマンサービス分野に活かす知識や技術を身につけ、農業、関連産業及び地域社会や地域振興等で活躍する人材の育成を目指す。	＜動物サービスコース＞ 畜産や動物に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、飼料作物等の畑作物の栽培について学ぶ。 また、生産物の利活用や付加価値化、動物を活用した交流に関わる学習を行う。 ＜園芸デザインコース＞ 草花等の施設園芸に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、園芸装飾や園芸全般について学ぶ。 また、生産物の利活用や付加価値化、園芸を活用した交流に関わる学習を行う。

(2) 学習内容・進路

①栽培科学科

コース名	学習内容	進路
栽培システム	野菜を主とした栽培技術、生産管理、植物工場、スマート農業に関わる学習。 ○野菜の栽培管理、施設栽培・システム栽培 ○スマート農業、生産工程の管理 ○植物工場、環境計測制御、データ活用 ○流通・マーケティング	農学・工学関係学部進学 園芸・農業関係進学 農業・工業関連産業就職 地元産業就職 農業法人就職 農業経営者
果樹ビジネス	果樹を主とした栽培技術、生産管理、加工・販売、果樹経営・環境調和型農業に関わる学習。 ○果樹の栽培管理、環境調和型農業 ○果物の貯蔵・加工・販売 ○果樹経営、6次産業化、観光農業 ○流通・マーケティング	農学関係学部進学 園芸・農業関係進学 農業関連産業就職 地元産業就職 農業法人就職 農業経営者

②地域資源科

コース名	教育内容	進路
食品サイエンス	食品の成分分析や機能性栄養食品、微生物、食品衛生に関わる学習。 ○食品の化学分析 ○食と健康、栄養、機能性食品 ○食品衛生、食品微生物 ○食品の製造、製造工程の管理	栄養・農芸化学関係学部進学 食品・調理関係進学 食品関連産業就職 流通関連産業就職 サービス関連産業就職 地元産業就職
地域クリエイト	地域資源の活用とその商品開発、マーケティング・ブランド化、地域食文化に関わる学習。 ○食品製造、製造工程の管理 ○茶・伝統野菜の栽培 ○食品加工・開発、商品デザイン、ブランド化 ○地域資源の活用、伝統的な食文化	農業経済・経営関係学部進学 観光・ビジネス関係進学 農業関連産業就職 食品関連産業就職 サービス関連産業就職 地元産業就職

③生物活用科

コース名	教育内容	進路
動物サービス	中小家畜等の飼養管理や動物を活用した介在活動等の動物資源の活用と社会福祉に関わる学習。 ○動物の飼養 ○動物の生理生態 ○動物愛護、アニマルセラピー ○動物を活用した交流活動	畜産関係学部進学 動物・福祉・看護・医療関係進学 介護福祉関連産業就職 サービス関連産業就職 動物関連産業就職 地元産業就職 農業経営者
園芸デザイン	草花を中心とした園芸福祉、環境デザイン・フラワーアレンジメント等の植物資源の活用と社会福祉に関わる学習。 ○草花の栽培 ○園芸デザイン、フラワーアレンジ ○園芸福祉 ○園芸を活用した交流活動	園芸関係学部進学 デザイン・ガーデン関係進学 福祉・看護・医療関係進学 草花・園芸関連産業就職 介護福祉関連産業就職 地元産業就職 農業経営者

(注) 表中の進路については、学科・コースの専門性をより活かした進路先を例示していますが、現行の学科(旧学科)の卒業生同様、学科の学習内容の関連を問わず個人の進路希望を尊重し進路指導を行っています。また、一般的な就職や専門学校への進学において、所属学科によって制約されることはほとんどありません。参考までに、過去4年間の学科別の進路状況(別紙)を掲載しておりますので、ご覧ください。

(3) 学科・コースの教育課程

栽培科学科

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		現代の 国語		言語 文化		地理総合			数学Ⅰ			化学基礎			体育		保健	音楽Ⅰ 書道Ⅰ		英語コミュニ ケーションⅠ		家庭 総合		農業と環境				農業と 情報		L H R	
2年	栽培 システム 果樹 ビジネス	文学 国語		公共			数学Ⅱ			生物基礎			体育		保健	英語コミュニ ケーションⅡ			家庭 総合		選択 普農		農業と 情報	野菜	農業 機械	植物 バイオ		L H R			
																							農業と 情報		果樹	果樹	植物 バイオ				
3年	栽培 システム 果樹 ビジネス	文学 国語		歴史 総合		地学基礎			体育			選択A 普専		選択B 普専		選択C 農業		課題研究		総合 実習		栽培と 環境		農業 機械	食品 流通	※スマート 農業		L H R			
																		課題研究		総合 実習		栽培と 環境		果樹	食品 流通	※果樹 活用					

地域資源科

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		現代の国語		言語文化		地理総合			数学Ⅰ			化学基礎			体育		保健	音楽Ⅰ 書道Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		家庭総合		農業と環境				農業と情報		L H R	
2年	食品サイエンス 地域クリエイト	文学国語		公共			数学Ⅱ			生物基礎			体育		保健	英語コミュニケーションⅡ		家庭総合		選択普農	農業と情報 農業と情報		食品製造	食品化学	※食品分析		※食品開発		L H R		
3年	食品サイエンス 地域クリエイト	文学国語		歴史総合		地学基礎			体育			選択A 普専		選択B 普専		選択C 農業		課題研究		総合実習	食品化学	食品微生物	食品流通	※食品栄養		※食品栄養		L H R			
																					総合実習	地域資源活用	地域資源活用	食品流通	※地域食文化						

生物活用科

学年	コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		現代の国語		言語文化		地理総合			数学Ⅰ			化学基礎			体育		保健	音楽Ⅰ 書道Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		家庭総合		農業と環境				農業と情報		L H R	
2年	動物サービス 園芸 デザイン	文学国語		公共			数学Ⅱ			生物基礎			体育		保健	英語コミュニケーションⅡ		家庭総合		選択普農		農業と情報	畜産	飼育と環境	生物活用		L H R				
																						農業と情報		草花	栽培と環境	生物活用					
3年	動物サービス 園芸 デザイン	文学国語		歴史総合		地学基礎			体育			選択A 普専		選択B 普専		選択C 農業		課題研究		総合実習		畜産	食品流通	生物活用	※資源作物		L H R				
																		課題研究		総合実習		草花	食品流通	生物活用	※施設園芸						

【選択科目】

2年	選択	地理探究	音楽Ⅱ	論理・表現Ⅰ	※中国語表現	保育基礎	造園植栽	※地域環境	ビジネス基礎
	選択A	※国語探究	地理探究	数学A	※生命科学	※総合音楽	※多文化理解	フードデザイン	※農業情報活用
3年	選択B	※国語探究	政治・経済	数学A	※総合科学	※スポーツ探究	※総合音楽	※応用英語	マーケティング
	選択C	果樹	草花	飼育と環境	農業機械	食品製造	※食品の科学	※農の未来探究	※地域産業の探究

(注) ※印は学校設定科目

(注) 網掛け科目は農業・商業・家庭の専門科目